

E

lementary school



写真上 迫力のある歌と踊りで「ソーラン節」を披露した猪苗代小学校の児童たち

写真下 ささらなど日本伝統の民族楽器を使って「こきりこ」を演奏する児童たち

学びいなに豊かな音楽響く

野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭は10月8日、学びいなで開かれました。

町教育委員会と町校長会が主催、野口英世記念会の後援で開かれたこの音楽祭には、町内6小学校の児童と3中学校の生徒合わせて約770人が参加し、豊かなハーモニーを奏でました。

ステージでは児童や生徒たちが日ごろ練習してきた合奏や合唱などを披露、練習の成果を発揮して会場を訪れた保護者らを魅了しました。

音楽鑑賞のコーナーでは、アフリカ民族音楽団の「BB・モフラン & ジャンボ」による演奏がありました。メンバーの4人は、ピアノ、ギターにパーカッションを加えた独特の音色でアフリカの伝統音楽を紹介しました。

参加した児童、生徒たちはアフリカ音楽の持つ、独特のリズムなどを楽しみながら学びました。

H

igh school



写真上 ゴールした選手を出迎えた後、マウンテンバイクからゼッケンを回収する生徒たち
写真下 抽選会の係として活躍した渡部さん(左)と原さん(右)

大会を支えるボランティア

第4回ジンギスカップ IN 磐梯高原は10月3日、磐梯南ヶ丘牧場で開かれ、猪苗代高校のJRC委員会の生徒ら22人(3年生2人、2年生20人)がボランティアスタッフとして参加しました。

生徒たちはゴールした選手に「お疲れさまでした」と声をかけながらジュースを手渡し、ゼッケンを回収したり、抽選会の手伝いをしたりしました。

コース係として安全な競技運営のために全力を尽くす生徒、レース後の選手たちの楽しみであるジンギスカンの準備を手伝う生徒など、猪高生は各所で大会の盛り上げに一役買いました。

渡部歩さんと原美咲さん(共に3年生)は「学校の試験も近いけれど、地元の大会を盛り上げようと思って参加しました。選手の皆さんの頑張っている姿を、近くで応援することができてよかったです」と話しました。

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上 東北大会出場を報告した児童たち。左から土屋教育長、津金町長、長谷川さん、江川校長、五十嵐さん、小椋教諭、神さん

写真下 東北大会出場を決めた県大会の様子

全国大会目指して頑張るぞ

9月26日に福島市で開かれた第28回県マーチングフェスティバルの小学校バンドフェスティバル部門で金賞、マーチングバンド・バトントワリング部門で優秀賞に輝いた長瀬小マーチングバンドの代表は10月18日、東北大会出場の報告のため、津金町長を訪問しました。

児童代表でバンドマスターの長谷川楓さんは「6年生として、最後にいい思い出を残せるように頑張りたい」、副バンドマスターの五十嵐隼人さんは「東北大会に出場することができ、うれしい」、神櫻花さんは「悔いのない演奏をしたい」とそれぞれ抱負を語りました。

※同校マーチングバンドには8月、長瀬地区財産区から総額約200万円分の楽器などが寄贈されました。新しいユニフォームに身を包んだ児童たちは「地域の皆さんのためにも頑張る」と抱負を語りました。



写真上 皮ごと食べて「皮にげー!」と大声を上げる渡部怜磨くん(左)。残念ながらそこは焦げてるよ
写真下 「僕もう2個目だよ」と元気な笑顔を見せる子どもたち。焦げ目に気をつけて

秋の味覚、焼き芋パーティー

川桁保育所の焼き芋パーティーは11月4日、同保育所で開かれ、園児らが甘い秋の味覚を楽しみました。

今日は焼き芋の日だー。と、園児たちは何となくそわそわしているように見えました。炭火の中から焼き芋の甘い匂いが漂うと、今か今かと待ちかまえていた園児たちが、一斉に外へ走り出します。

テラスに腰を下ろして先生から焼き芋を受け取ると、「いただきます」と声をそろえ、アツアツの焼き芋にかじりついていました。

「甘い」「おいしい」「先生、2個目食べていい?」と、元気におかわりする子もいれば、「カメムシ発見!」と焼き芋どころではない子もいました。

焼き芋パーティーの後は避難訓練を実施し、園児と保育士が建物からの避難訓練と初期消火訓練に挑みました。

E

lementary school

N

ursery school